



多摩市



多摩市のみらいづくりワークショップ (総合計画改定ワークショップ)

平成31年1月19日 (土) 10時00分～12時30分
パルテノン多摩 第一会議室

1. 開会挨拶【10:00～10:05】
2. 趣旨説明【10:05～10:10】
3. 「重点課題」・「重点課題解決に向けた視点」について
【10:10～10:25】
4. ワークショップ[°]（ワールドカフェ）【10:25～12:25】
 - ・進め方の説明
 - ・第1ラウンド～第3ラウンド（グループ別・各20分）
 - ・全体発表
 - ・ワークショップまとめ
5. 閉会挨拶【12:25～12:30】

1. 開会挨拶



多摩市



開会挨拶

多摩市副市長 浦野 卓男

趣旨説明

2. 趣旨説明



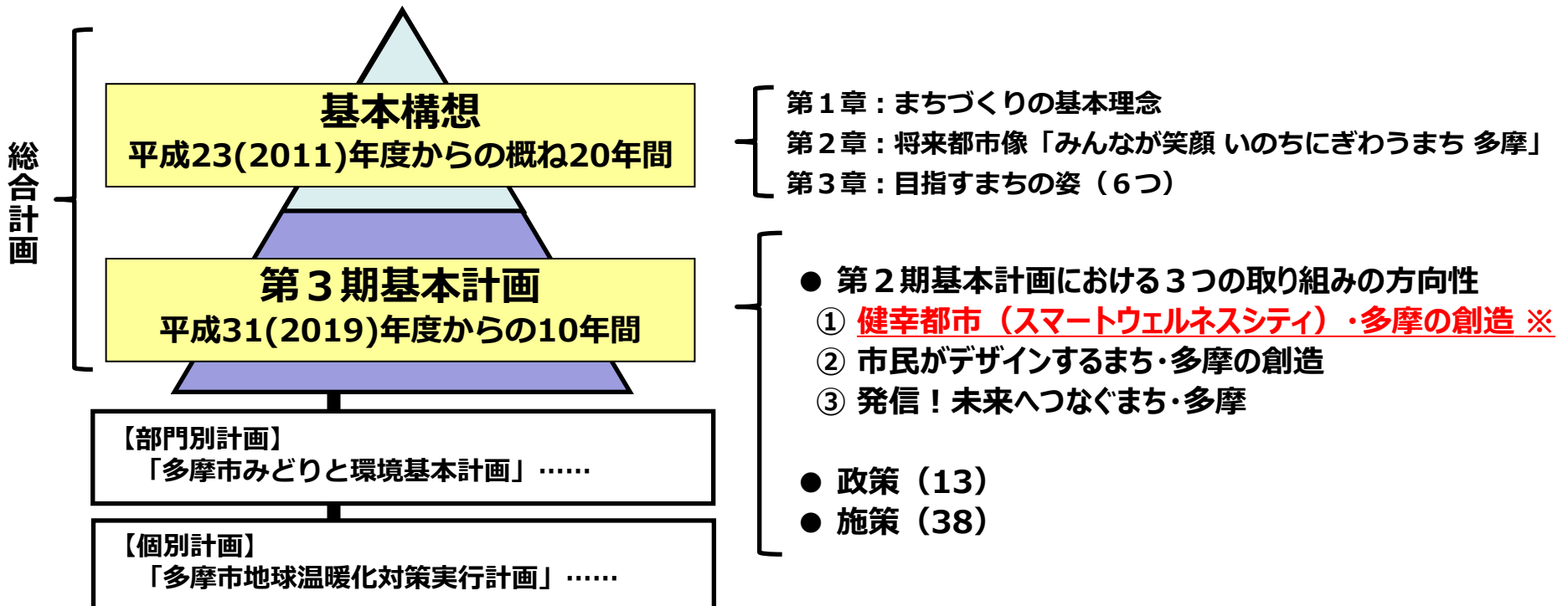
総合計画の構成と計画期間

(1) 位置づけ

- ・ 市民と行政の共通の目標として、まちづくりを進める上で根幹となる計画
- ・ さまざまな計画の中で、最上位に位置づけられる計画

(2) 構成

- ・ 基本構想、基本計画の2層で構成



2. 趣旨説明



多摩市



※ 健幸都市（スマートウェルネスシティ）とは？

多摩市が目指す健幸都市（スマートウェルネスシティ）とは、
身体面の健康だけでなく、それぞれに生きがいを感じ、
安全・安心に暮らすことができ、子育て中であっても、障害があっても、
子どもから高齢者まで、**だれもが幸せを実感できるまち**のことです。



<これまでの具体的な取り組み>

and more...

「**多摩市健幸都市宣言**」を制定：目指すべき姿（ゴール）を、多摩市に関わる者全員（市民、議会、行政、事業者等）で共有

「**健幸まちづくり基本方針**」を策定：行政として健幸まちづくりに取り組む基本姿勢、当面の事業の方向性、成果指標の考え方等を示

「**健幸Spot**」を開設：市民の皆さんの健康管理を応援するために、「健幸Spot」を開設。健幸Spotでは、筋肉量・体重・血圧等の自分の体の状態や、健康に関する情報を知ることができます

「**健幸マーク**」を策定：多摩市健幸都市宣言のイメージがひと目で伝わる「健幸マーク」を47点の応募作品の中から、市民の皆さんの投票の結果で選びました

「**ライフウェルネス検定**」を実施：老いや病と折り合いをつけながら、住み慣れたまちで自分らしくいきいきと暮らし続けられるポイントをまとめた、多摩市オリジナルのテキストを作成・販売し、テキストに掲載している情報の中から出題した多摩市独自の検定「ライフウェルネス検定」を開催しました

「**O t o n a - B a s i c**」を刊行：体の動かし方や睡眠、生きがいを持つことの大切さ等を伝える小冊子を市内病院等に配布（30代～50代を対象）

2. 趣旨説明



多摩市



基本計画の目標体系

【目指すまちの姿1】
子育て・子育てをみんな
で支え、子どもたちの明
るい声がひびくまち

- 政策A1 子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり
 - 施策A1-1 子育て家庭への支援
 - 施策A1-2 子どもの健やかな成長への支援
 - 施策A1-3 子育て・子育てを育む地域づくり
- 政策A2 人と学びを未来につなぐまちづくり
 - 施策A2-1 学力の伸長と個性、創造性の育成
 - 施策A2-2 心の教育や体験活動の推進
 - 施策A2-3 健康教育と環境教育の推進
 - 施策A2-4 学校・家庭・地域等の連携の推進

【目指すまちの姿4】
働き、学び、遊び みんな
ながら活気と魅力を感じる
まち

- 政策D1 人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまちづくり
 - 施策D1-1 商工業の振興による地域経済の活性化の推進
 - 施策D1-2 観光の視点からのまちの魅力づくりの推進
 - 施策D1-3 都市農業の振興による農からのまちづくりの推進

【目指すまちの姿2】
みんなが明るく、安心して、
いきいきと暮らしてい
るまち

- 政策B1 生涯にわたって健やかでいきいきと暮らせるまちづくり
 - 施策B1-1 ライフステージに応じた健康支援と市民自ら取り
組む健康的な生活習慣
 - 施策B1-2 健康を支えるネットワーク
- 政策B2 だれもが安心して暮らせる支え合うまちづくり
 - 施策B2-1 地域福祉の推進
 - 施策B2-2 セーフティネットによる生活支援
 - 施策B2-3 社会保険制度の健全な運営
- 政策B3 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり
 - 施策B3-1 地域における高齢者支援
 - 施策B3-2 権利擁護と介護予防の推進
- 政策B4 障がい者が安心して暮らせるまちづくり
 - 施策B4-1 障がい者が暮らしやすいまちづくり
 - 施策B4-2 ライフステージを見据えた支援体制の構築

【目指すまちの姿5】
いつまでもみんなが住み
続けられる安全で快適な
まち

- 政策E1 安全・安心のまちづくり
 - 施策E1-1 防災・防災のまちづくり
 - 施策E1-2 暮らしの安全を守るまちづくりの推進
 - 施策E1-3 交通安全の推進
- 政策E2 安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり
 - 施策E2-1 充実した都市機能の維持・更新
 - 施策E2-2 安全でゆとりある道路網の整備
 - 施策E2-3 地域性を生かしつつバランスの取れた交通体系の
構築
 - 施策E2-4 良質な住環境の確保の推進

【目指すまちの姿3】
みんなで楽しみながら
地域づくりを進めるまち

- 政策C1 地域で支え合い、暮らせるまちづくり
 - 施策C1-1 市民主体による地域づくり、まちづくりの推進
 - 施策C1-2 学びから、人づくり・まちづくりを推進
 - 施策C1-3 多様な担い手の力をまちづくりに活かす仕組みづく
り
- 政策C2 豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり
 - 施策C2-1 市民の文化・スポーツ、学習活動の振興
 - 施策C2-2 多様な交流と共生によるまちづくり
 - 施策C2-3 文化の継承と創造
- 政策C3 だれもが平等で互いに尊重しあうまちづくり
 - 施策C3-1 平和の希求と人権の尊重
 - 施策C3-2 男女平等・男女共同参画の推進

【目指すまちの姿6】
人・自然・地球 みんな
で環境を大切にすまち

- 政策F1 地球と人にやさしい持続可能なまちづくり
 - 施策F1-1 自然環境・都市環境の保全と創出
 - 施策F1-2 低炭素・省エネルギー社会の構築
 - 施策F1-3 ごみの少ないまちづくり
 - 施策F1-4 環境を支える人づくりとパートナーシップの形成

2. 趣旨説明



多摩市

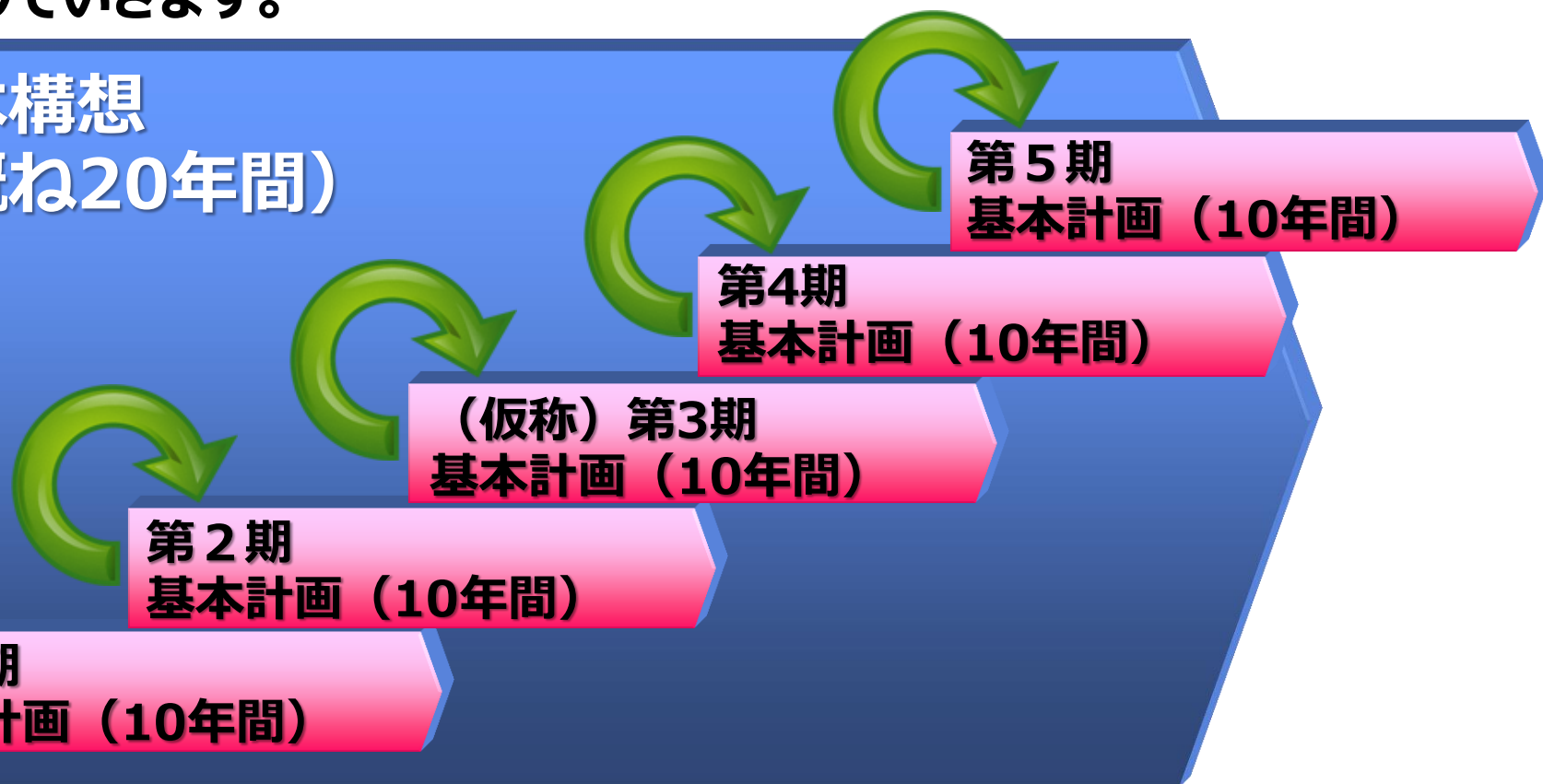


基本計画の構成と計画期間

- 計画の実効性を確保するため、4年ごとに選出される市長公約や社会情勢等の変化を踏まえ、**4年ごとに10年間の計画**として、改定していきます。

基本構想

(概ね20年間)



H23(2011)年度

H27(2015)年度

H31(2019)年度

H35(2024)年度

H39(2028)年度

2. 趣旨説明



多摩市



計画改定に向けた流れ

内部検討

総合計画専門委員会

- 副市長以下、部長級職員で構成

総合計画策定委員会

- 市長以下、全管理職で構成

平成30年5月
中・高校生アンケート

平成30年8月
市民ワークショップ^{①②}

平成31年3月
パブリックコメント

※過去の市民参画を活用

- ・多摩市政世論調査
- ・若者のまちづくり基礎調査報告書
- ・地域活動に関する市民参画アンケート
- ・連光寺小学校6年生による「2030年の理想とする町」
- ・男女平等・男女共同参画に関する多摩市民意識及び実態調査報告書2015

本日はこちら!

平成31年1月
市民ワークショップ^③

平成31年3月
市民説明会(仮)

平成31年6月
第3期基本計画のスタート!

平成30年6月～平成31年6月
多摩市総合計画審議会

- 公募市民や学識経験者から構成される市長の諮問機関(計15名)

市民参画



2. 趣旨説明



多摩市



- 本日は、事前のご案内のとおり、
 - ① 超高齢社会への挑戦
 - ② 若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるまちの基盤づくり
 - ③ 市民・地域と行政との新たな協働のしくみづくりの「3つの重点課題」について、自由に議論していただきます。
- 「重点課題」とは、現行の第2期基本計画の取り組みの方向性の1つとして位置づけている「健幸都市（スマートウェルネスシティ）多摩の創造」を、次期の総合計画でさらに拡充させていくために、**今後4年間で施策横断的に力点を置いて、推進していくテーマ（行政課題）**です。
- 話し合われた内容は、総合計画へ反映させるとともに今後の市政運営の参考といたします。

2. 趣旨説明



※総合計画の施策ページ（イメージ）

施策 A1-1 子どもの健やかな成長への支援

1 施策のめざす姿

子どもたちが、のびのびと、その子らしく育つために、周囲の大人たちが子どもたちを人として尊重し、あたたかく見守っています

2 施策の成果目標値

指標名	現状値	目標値	目標値
	平成 29 年(2016 年)度	平成 34 年(2022 年)度	平成 40 年(2028 年)度

【出典：①●●● ②・③●●●】

**本日の議論が反映される部分
(市が取り組むべきこと・進め方)**

1

3 主な施策の方向性と今後 4 年間の重点的な取り組み

(1) 子どもの成長への支援

- ① 子どもと親子の居場所づくりの推進（視点 2-①、視点 2-③）
 - 児童館等では、未就学児の親子が交流する地域子育て拠点事業とともに、小学生の放課後の居場所として、様々な行事等の展開や、中高生のニーズを反映させた魅力ある取り組みを行います
- ② 青少年協地区委員会活動の支援
 - 地域における青少年健全育成の主体である地区委員会の活動について、従来からの各種情報提供や各団体間の意見交換の場の設定とともに、新たな時代の変化に対応した地区委員会活動の支援を行います
- ③ 体験・社会参加の充実
 - 子どもたちの社会体験として、夏休みボランティア体験を実施など、子どもたちの社会体験や異世代交流を図ります
- ④ 児童虐待の防止と早期発見・早期支援（視点 2-③）
 - だれもが、子どもを一人の人として尊重し、子どもの成長を支援します。また、子どもの人権を守るために、関係機関と連携し児童虐待防止・早期発見を図り、市民への啓発を進めます

4 施策の実現に向けて市民は・・・

- 子どもを一人の人として尊重します
- 地域では、子どもたちの見守り活動をします
- 家庭では、子どもの地域行事への参加を勧めます
- 様々な地域行事を実施し、子どもの居場所をつくります
- 高校生、大学生は遊びのリーダー役を担います
- 事業者は、子どもの健全な育成環境に配慮した事業活動を行います

5 関連する主な計画

- ◆ 多摩市子ども・子育て支援事業計画

**本日の議論が反映される部分
(市民は何ができるか?)**

2

3. 「重点課題」

「重点課題解決に向けた視点」について



多摩市



「重点課題」 「重点課題解決に向けた 視点」について

3. 「重点課題」

「重点課題解決に向けた視点」について



多摩市



「重点課題」・「重点課題解決に向けた視点」

健幸まちづくりのさらなる拡充に向けて

重点課題
(3)

重点課題解決に向けた視点
(18)

<重点課題1> 超高齢社会への挑戦	<重点課題2> 若者世代・子育て世代が 幸せに暮らせるまちの基盤づくり	<重点課題3> 市民・地域と行政との 新たな協働のしくみづくり
① だれもがいいきと生活できるための健康づくり活動の支援	① 子育てがしやすいと思える保育・教育環境の充実	① 地域活動を市が後押しするためのしくみづくり
② 介護予防・フレイル（虚弱）予防のさらなる充実	② 市独自の子ども・子育て支援や教育の推進	② だれもが地域活動に参画できる環境整備
③ 地域医療・介護体制を支える仕組みづくり	③ 支援を必要とする子ども・若者へのサポート・体制づくり	③ 「だれもが支え手」の地域づくり
④ 高齢者の居場所づくりと地域における支援体制の充実	④ 子育て世代にやさしい都市基盤の維持・向上	④ 地域防災・防犯活動を通じた結びつきの強化
⑤ だれもが安心して外出することができるための交通体系・交通環境の充実	⑤ 駅周辺の再整備・再構築によるまちの個性と魅力の創出	⑤ 多様性を尊重し、だれもがいいきと活躍できるまちづくりの推進
⑥ だれもが安心して住み続けられるための住み替え・居住支援	⑥ 多様な働き方を実現するための環境整備	⑥ 現役世代の声を地域に活かすしくみづくり

3. 「重点課題」

「重点課題解決に向けた視点」について



多摩市



「重点課題」・「重点課題解決に向けた視点」の検討経緯

【STEP 1】「何を」重点的に取り組んでいくのか？を検討

6/4 第1回審議会
⇒市長から諮問

7/4 第2回審議会

7/25 第3回審議会

9/4 第4回審議会
⇒重点課題をとりまとめ

①8/4 ②8/11 市民ワークショップ ～多摩市の10年後を考えよう！～

- これまでの審議会でも検討されてきた「重要テーマ」を、市民の皆さんの目線で自由に議論し、取り組むべき優先度を投票形式で判断いただきました。
- いただいた優先度及び議論の結果を、第4回審議会にフィードバックし、**施策横断的に重点的に取り組んでいく「重点課題」、「重点課題解決に向けた視点」(案)として取りまとめました！**



【STEP 2】「どのように」各施策を実現していくのか？を検討

【10月～12月】「重点課題」を踏まえ、市内部で
具体的な施策(案)を検討 (計11回の会議開催)

1/19 市民ワークショップ
⇒施策の実現に必要なこと・できることを議論

【11～1月】 第5～7回審議会 ⇒市内部で作成した**施策(案)を確認・議論**

3. 「重点課題」

「重点課題解決に向けた視点」について



多摩市



<重点課題 1 超高齢社会への挑戦>

第2期基本計画における取り組み

「健幸都市（スマートウェルネスシティ）・多摩の創造」の取り組みにより、

- ① 男性・女性ともに**健康寿命が都内No1**
- ② 要介護認定率も**都内26市で最も低い水準**
- ③ 市民の健幸まちづくりに対する認知度も徐々に高まっており、**市民・団体の活動の機運も向上** 等

健幸まちづくりの取り組みをさらに拡充！

なかでも、「超高齢社会」に対応する取り組みについて特に力点を置いて取り組む！

今後の課題

人口減少・超高齢社会の進行

・高齢化率：28.1%（2019年1月1日時点）

・国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は2060年に約10万人まで減少するとしている。

※2015年時点推計

今後、想定される課題にも的確に対応

重点課題の解決に向けた視点（各施策に反映し、推進していきます）

- ① だれもがいきいきと生活できるための健康づくり活動の支援
- ② 介護予防・フレイル（虚弱）予防のさらなる充実
- ③ 地域医療・介護体制を支える仕組みづくり
- ④ 高齢者の居場所づくりと地域における支援体制の充実
- ⑤ だれもが安心して外出することができるための交通体系・交通環境の充実
- ⑥ だれもが安心して住み続けられるための住み替え・居住支援



3. 「重点課題」

「重点課題解決に向けた視点」について



多摩市



<重点課題2 若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるまちの基盤づくり>

第2期基本計画における取り組み

「発信！未来へつなぐまち・多摩」の取り組みにより、

- ① 「諏訪・永山まちづくり計画」を策定し、ニュータウン再生の取り組みも本格化
 - ② 企業誘致条例に基づき、8の指定企業を誘致
 - ③ 「シティセールス戦略」を策定
- 等

上記の視点を継承しながら、
これからの時代を担っていく若者世代・子育て世代に
より魅力を感じてもらえるまちづくりを進める

今後の課題

定住促進、まちの活性化

- ・合計特殊出生率 都内26市で24位：1.21（2017年）
※全国平均 1.43、都内26市平均 1.21
- ・人口動態 自然減：-284人、社会増：722人(2017年)

今後、想定される課題にも
的確に対応

重点課題の解決に向けた視点（各施策に反映し、推進していきます）

- ① 子育てがしやすいと思える保育・教育環境の充実
- ② 市独自の子ども・子育て支援や教育の推進
- ③ 支援を必要とする子ども・若者へのサポート・体制づくり
- ④ 子育て世代にやさしい都市基盤の維持・向上
- ⑤ 駅周辺の再整備・再構築によるまちの個性と魅力の創出
- ⑥ 多様な働き方を実現するための環境整備



3. 「重点課題」

「重点課題解決に向けた視点」について



多摩市



<重点課題3 市民・地域と行政との新たな協働のしくみづくり>

第2期基本計画における取り組み

「市民がデザインするまち・多摩の創造」の取り組みにより、

- ① 「多摩市若者会議」を設置し、若者の視点を市政へ
 - ② 「わがまち学習講座」の開催
 - ③ 大学や企業との連携の推進
- 等

上記の視点を継承しながら、
地域と行政がより一体となっ
ていくながら、
地域課題の解決に向けて様
ざまな取り組みを進める

今後の課題

行政課題は複雑化・市民の価値観も多様化し、
行政だけでは支えきれない様々なニーズは増加。
市民の理解を得ていくことが困難な場面も

今後、想定される課題にも
的確に対応

重点課題の解決に向けた視点（各施策に反映し、推進していきます）

- ① 地域活動を市が後押しするためのしくみづくり
- ② だれもが地域活動に参画できる環境整備
- ③ 「だれもが支え手」の地域づくり
- ④ 地域防災・防犯活動を通じた結びつきの強化
- ⑤ 多様性を尊重し、だれもがいきいきと活躍できるまちづくりの推進
- ⑥ 現役世代の声を地域に活かすしくみづくり

